

## えいのう 生産資材

## 育苗・花き・軟弱野菜専用スプリンクラー「S-10」(サンホーブ)

夏の暑さが本格化する時期には、かん水の重要性が増す。サンホーブ(東京)が販売する育苗・花き・軟弱野菜専用スプリンクラー「S-10」は、小型ながら散水範囲が広いのが特徴だ。導入した農家の意見を聞いた。

神奈川県藤沢市で植木や花壇用の花苗などを作る藤好園では、6月に施工して「S-10」を使い、リンクマーク一つで直径約12㍍の範囲をカバーできる。花壇用苗などを遮光して管理する約100平方㍍に、4つを設置した。型のスプリンクラーを使ってきたが、水の粒が大きめの出る穴が開いていた。一方、手でかん水するほど作業する人に、また、かん水を終えた後にノズルの中へ残った水を抜く弁が付いているので、冬も凍る心配がない。



スプリンクラー自分で設置した森さん(神奈川県藤沢市)

# ユーハー通信簿

水の粒が粗め  
風影響少ない  
従来のスプリンクラーは2~7㍍間隔で設置するが、「S-10」は4㍍間隔でよい。少ない数で広

き過ぎ、鉢の置き場所にくつ時間もかかった。  
よってむらが出る欠点があつた。一方、手でかん水するほど作業する人に、また、かん水を終えた後にノズルの中へ残った水を抜く弁が付いているので、冬も凍る心配がない。

施工は森さんやパートタイマーら3人でやり、1時間ほどで完成した。「S-10」は小型なので設置も簡単だ。支柱に取り付けて、地面に突き刺せばよい。設置場所を変えるのも楽ができる。スプリンクラーは水系統にして、片方だけ動かすこともできるようにした。

工具費がからないの

## すぐ設置可能 飛距離もつと

### 神奈川県の藤好園



●メーカーから●

S-10

イスラエルのネルソン社製、育苗・花き・軟弱野菜専用。露地、ハウスどちらでも使える。散水量は毎分3.6㍑(水圧0.2分弱の時)。散水半径は5.8~6.7㍍。森さんは、水を上向きに噴出させるタイプを使う。下向きに噴出させるタイプもある。

スプリンクラー本体は、アダプター付きで1個1502円。支柱やパイプなどを組み合わせた「NSポータブルセット」もある。問い合わせはサンホーブ(東京)、(電)03(3710)5875。



圃場(ほじょう)を方まとうすると、水の粒が少しお粗いので、風の影響を受けてよく飛んでしまう。さらに遠くへ水を飛ぶの(話)

はそれほど高くならない。使い勝手や性能に特に不満はないが、「つ当たりの散水範囲が、さらに広くなると理想的だ」と森さんは言う。より散水範囲の広い機種のスプリンクラーに比べ、「どうしても面積元気の設置個数が多めになるからだ。

井戸水を使っていても、現在の井戸は浅いので、夏場は水が足りなくなる可能性もある。このため、違う場所に深い井戸を新しく掘っている。

スプリンクラー自分で設置した森さん(神奈川県藤沢市)